

受講生募集 11月開講 育児中の方、家族の介護をしている方対象 【託児サービス付訓練】



ビジネスパソコン基礎科

託児定員
5名

ハロートレーニング
急がば学べ

受講料無料 基礎からのパソコン技能を安心して学べる公共職業訓練です

訓練の目的	求職中の方が、新たな就職に必要な知識・技能を習得することにより、早期就職を促進するための訓練です
受講対象者	育児等（小学生以下の児童の養育、家族の介護）により、1日あたりの受講時間に一定の配慮が必要と認められる方で、公共職業安定所に求職申し込みをし、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示を受けられた方。
募集定員	20名
訓練期間	令和元年11月19日（火）～令和2年2月18日（火）（3か月） 訓練時間10:00～15:50 毎週 月～金（祝日・年末年始を除く）
訓練内容	詳細は裏面のカリキュラムのとおり
託児所	①託児サービスは無料です（訓練実施日のみ） ②託児所は2か所あります 受入れ定員は、合わせて5名です ③施設により受入れ定員、受入れ月齢、昼食・おやつの取扱い等異なりますので、詳細については、添付の託児チラシを必ずご確認ください その他受入れについてご質問がある方は下記訓練実施場所まで問合せください ④慣らし保育が必要な場合は、訓練期間外のため実費負担となります ⑤申し込み多数の場合は、託児サービスは受けられない場合があります
その他	① 訓練受講料は無料 ② 教科書代6,820円 及び 資格取得に伴う受験料は自己負担となります ③ 職業訓練生総合保険料（任意加入） 3,000円（自己負担） ○雇用保険受給資格者等で公共職業安定所長の受講指示を受けられた方は、訓練期間中に訓練手当が支給されます ○雇用保険受給資格のない方でも、一定の要件を満たせば「職業訓練受講給付金」の制度があります ○詳細は、最寄りの公共職業安定所にてご相談ください ○応募状況により訓練を中止することがあります



資格試験は人気の
MOS試験2016に対応



募集期間

令和元年9月2日（月）～令和元年10月17日（木）

応募方法

最寄りの公共職業安定所でご相談していただき「入校願」を提出してください

選考日

令和元年10月25日（金） 9:30～9:50（受付）

※適性検査、面接 10:00～13:00

（応募者が多数の場合は、時間を延長することがあります）

※筆記用具（鉛筆2本）を持参ください

※遅刻、欠席された場合は辞退されたものとみなします

※選考会場は、宮日パソコン教室 宮崎中央校となります

* 駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください

◎選考場所 訓練実施場所◎

アイ日本総合ビジネス学院 宮日パソコン教室 宮崎中央校

〒880-0803 宮崎市旭 2-1-21 ビスタリー旭 201

TEL:0985-61-1706 FAX:0985-36-8229

※ 駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください

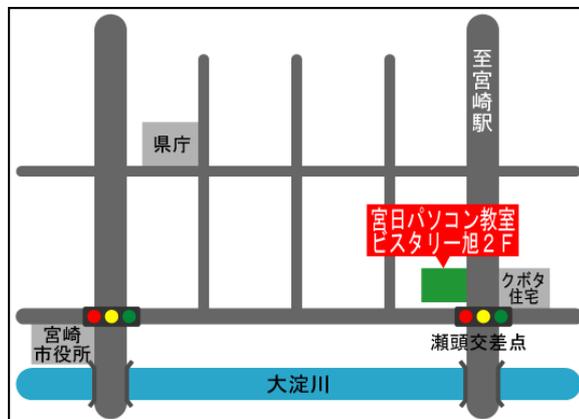
◎託児所◎

きっずぶれいす（3名受入）

宮崎市清水町3丁目 10-12 南国ビル 1F

乳幼児保育 ひよこ園（2名受入） 宮崎市西高松町 4-44

※ どちらかを選んでください



※お車で訓練通所希望の方へ：選考会時に教室周辺有料駐車場のご案内をさせていただきます

※自転車・バイクで通所希望の方は無料にて駐輪できます

お問い合わせ先：宮崎公共職業安定所

TEL 0985-23-2245

高鍋公共職業安定所

TEL 0983-23-0848

ほか、地域の公共職業安定所へ

実施主体：県立産業技術専門校

西都市大字右松 362-1

TEL 0983-42-6509

委託訓練カリキュラム

実施施設名：宮日パソコン教室 宮崎中央校（アイ日本総合ビジネス学院）

訓練科名	ビジネスパソコン基礎 科		訓練期間	令和元年11月19日（火）～令和2年2月18日（火）（3か月）
訓練概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスには欠かせないコミュニケーションツールであるビジネスメールの基本ルールやマナーを習得し、メールでのビジネスコミュニケーションを円滑にする ・ビジネスシーンに必要なビジネスソフトであるワード、エクセル、パワーポイントを資格取得レベルまで使用することができ、社内での業務改善や情報共有ができる技能を身に付ける ・企画立案に応じた内容の組み立て方を学び、的確なプレゼンテーションで顧客への分かりやすい提案方法を身に付ける ・グループワークの実施によって、コミュニケーション・チームワーク・リーダーシップを経験し、ヒューマンスキルを身に付け、企業に貢献できるようになる ・自己理解にて自分を客観的に知り自身の希望と企業ニーズ・地域ニーズとを比較し、現実的な就職活動が実施できるようになる 			
訓練目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業に導入されているワード、エクセル、パワーポイントといったビジネスソフトを資格取得レベルまで身に付けることで「一般事務・一般事務補助・コールセンター等」に就職でき、コミュニケーション能力、ヒューマンスキル向上により積極的に技能を発揮し、企業内で必要とされる人材になる ・職業訓練を修了することで将来に向けてのキャリア形成を明確にできる人材となる 			
取得可能資格	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロソフト オフィス スペシャリスト2016（ワード・エクセル・パワーポイント） ・コミュニケーション検定 初級 ・コンピュータサービス技能評価試験 2級・3級（ワープロ部門・表計算部門） 			
訓練の内容	科目の内容			時間数
	オリエンテーション	オリエンテーション(入校日 4時間、修了日 1時間) 入校式、修了式を除く		学科：5
	就職支援	キャリア形成の必要性、自己理解、仕事理解、労働市場情勢、ジョブ・カード作成、意識調査及びキャリア分析、履歴書・職務経歴書の効果的な書き方、ビジネスマナー、就職講話、面接試験対策の実施、社会保険の役割、キャリア・コンサルティングの実施		学科：22
	ICT基礎演習	安全衛生（VDT作業の注意点・症状・対策、テクノストレス対策） ハードウェアとソフトウェア、コンピュータの性能、用語理解 ネットワーク基礎、メリットとリスク、セキュリティ対策、知的所有権 パソコンを利用する上での基本操作 OS基本操作、タイピング、メールソフトOutlook2016使用方法、ビジネスメールのマナー、インターネット検索、データ圧縮と解凍、クラウド利用（仕組み・利点・注意点、Outlook.comの利用と管理、One Driveの利用と管理、オフィスオンラインの利用と管理）		学科：6 実技：29
	文書作成演習 ワード2016	ワード2016 を利用したビジネス文書や様々な資料作成方法を学習します。 基本操作、入力・変換方法、文書作成、ビジネス文書作成（種類と構造、作成の留意点）、各種文字装飾、図の挿入、レイアウト、罫線と表、作図機能、POP（販売促進）ツール作成、クラウド利用、ビジネス実務問題、資格試験対策（MOS 試験対策テキストを使用した試験範囲解説）		学科：12 実技：53
	表計算 作成演習 エクセル2016	エクセル2016 を利用した様々なビジネス帳票作成方法を学習します。 基本操作、表作成、四則演算、基本関数の利用、相対参照と絶対参照、端数処理関数、順位関数、ウィンドウ操作、ページ設定、グラフ作成、条件関数、比較演算子、行列関数、文字列操作関数、データベース機能の利用、様々なデータ抽出方法、クラウド利用、ビジネス実務問題、資格試験対策（MOS 試験対策テキストを使用した試験範囲解説）		学科：12 実技：59
	スライド 作成演習 パワーポイント2016	パワーポイント2016 を使用したプレゼンテーション資料作成、効果的な演出方法を学習します。 基本操作、スライド作成、デザイン適用、画面切り替え効果、アニメーション設定、サウンド・映像の挿入他ソフトとの連携、配布資料準備、効果的なスライド作成方法、スライドマスター操作、プレゼンテーションの構成方法、自己紹介スライドの作成と発表、資格試験対策（MOS 試験対策テキストを使用した試験範囲解説）		学科：12 実技：30
	プレゼンテーション 技法演習	企画立案・プレゼン技法・グループワーク演習の学習で円滑なコミュニケーション技法を習得、コミュニケーション検定対策。 1対1と組織でのコミュニケーションの違い（自己主張と他者傾聴、効果的な話し方・聞き方、人間関係構築、チームワーク、意見の主張）、グループで企画構成とコンセプト設定、演出方法、発表資料作成、リハーサルと発表会の実施。		学科：22
	総合演習	アプリケーションソフト（ブラウザ・電子メールソフト・ワード・エクセル・パワーポイント）を連携させ使用する方法。クリップボードの利用方法。 ・ワードによる実務配布資料作成 ・エクセルによるデータ分析作業と報告 ・パワーポイントによるスライド作成とプレゼンテーションの実施 ・インターネット検索での情報収集とEメールを利用した情報交換		学科：4 実技：14
1日の訓練時間	10時00分～15時50分 訓練時間 5時限（50分授業×5コマ） 休憩時間 90分（10分休憩3回・昼休憩60分）	総訓練時間	総訓練時間 280時間 （①学科 95時間 ②実技 185時間） （日数 57日間）	

訓練修了するには学科、実技の訓練設定時間のそれぞれ80%以上の受講が必要です。詳しくは訓練校までお尋ね下さい。